

松戸市橋りょう長寿命化修繕計画



令和6年3月



松戸市 建設部 道路維持課

目 次

1. 長寿命化修繕計画の概要	1
1-1 概要	1
2. 基本方針	2
2-1 長寿命化修繕計画対象施設	2
2-2 健全度の把握に関する基本的な方針	2
2-3 日常的な維持管理に関する基本的な方針	2
2-4 対象橋りょうの長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針	3
2-5 計画策定の手順	4
2-6 計画の実施サイクル	5
3. 管理橋りょうの現状	6
3-1 橋りょうの現状	6
3-2 点検結果の分析	7
4. 維持管理方針の設定	8
4-1 維持管理区分の定義	8
4-2 維持管理区分の決定	8
5. 健全性の設定	10
6. 劣化予測手法の設定	11
7. 事業費予測の手法	12
7-1 事業費予測の基本的な考え方	12
7-2 対策(修繕)工法・単価等の設定	12
7-3 橋りょうの更新(架替え)について	13
7-4 優先順位の設定	13
8. 将来事業予測	14
8-1 対症療法型と予防保全型との費用比較	14
8-2 事業費予測における条件設定	14
9. 長寿命化修繕計画による事業費の策定	15
10. 新技術の活用	16
10-1 点検技術の検討	16
10-2 修繕技術の検討	16
10-3 新技術を活用した際の費用縮減効果	16
11. 集約化・撤去の方針	17
11-1 集約化・撤去の方針	17
11-2 集約化・撤去を行った際の費用削減の効果	18
12. 対象施設毎の次回点検時期及び修繕の時期	19
13. 計画策定担当部署	19
14. 長寿命化修繕計画にあたり意見聴取を行った学識経験者	19
15. 長寿命化計画に使用する語句の整理	20

1. 長寿命化修繕計画の概要

1-1 概要

松戸市が管理する橋梁は、1980年代中頃の建設をピークに、現在、331橋に達しています(横断歩道橋7橋を除く)。高齢化の目安とされる建設後50年を越える橋梁は現在15%程度ではありますが、20年後には急激な高齢化が進み、実に90%以上が建設後50年を越えることとなります。これより、一斉に架替え時期を迎えることが予想され、短期間に集中して大きな財政負担が生じてしまうことが考えられます。

このことから、平成25年に橋りょう長寿命化修繕計画を策定し、予防保全型の維持管理の採用による橋梁の長寿命化、および、維持管理のコスト縮減を行うとともに予算の平準化を図り、計画的かつ戦略的な維持管理を行ってきました。今後も予防保全型の管理を継続し、計画的かつ戦略的な維持管理を行っていく予定です。

5年ごとに計画を更新し、令和5年は2019年度から2022年度の点検結果を参照しての策定で平成25年度(2013年度)の初回から数えて第3回目の計画となります。各橋梁の最新の健全度調査結果や新たな知見等を取り入れた橋りょう長寿命化修繕計画に更新します。

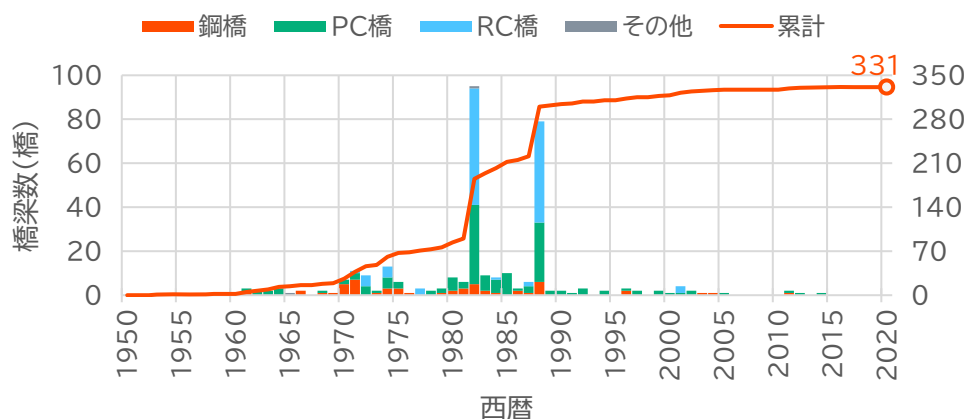


図 1-1 管理橋梁の架設年度

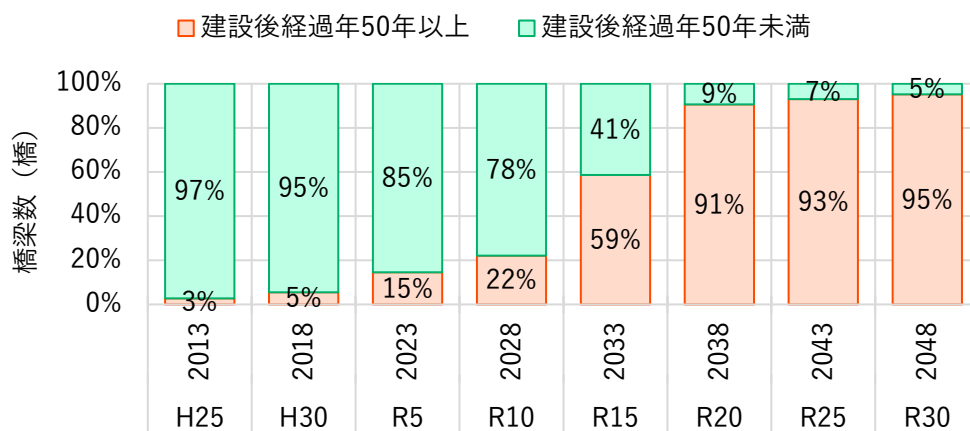


図 1-2 建設後50年を越える橋梁割合の推移

2. 基本方針

2-1 長寿命化修繕計画対象施設

長寿命化修繕計画の対象施設は、松戸市が管理する橋梁331橋(横断歩道橋7橋を除く)とし、計画期間を50年間として、全橋についての修繕事業計画を令和5年度に策定するものとします。

表 2-1 長寿命化修繕計画対象施設

全管理橋梁数	市道1級	市道2級	市道その他	合計
	26	44	268	338
うち計画の対象橋梁数	25	44	262	331
うち平成30年度計画策定橋梁数	25	44	262	331
うち令和5年度計画策定橋梁数	25	44	262	331

2-2 健全度の把握に関する基本的な方針

定期点検や日常的な維持管理によって得られた情報に基づき、橋梁の損傷状況、健全度を早期に把握します。

【具体的な方針】

- ◇ 平成31年度から令和4年度に「橋梁定期点検要領(平成31年3月)／国土交通省 道路局 国道・技術課」および「道路橋定期点検要領(平成31年2月)／国土交通省 道路局」に基づき定期点検を実施し、全橋梁の損傷状況の現状把握を行いました。
- ◇ 令和6年度以降、3回目の定期点検結果に基づいて、計画的、予防的な修繕を確実に実施します。

2-3 日常的な維持管理に関する基本的な方針

日常パトロールによる橋面の状況把握を行い、5年に1回の頻度の定期点検の合間における対象施設の現状の状況を把握します。

また、日常パトロールで車両通行、歩行者の利便性、安全性を損なう恐れのある状況を発見した場合には適宜、修繕工事による改善を行います。

【具体的な方針】

- ◇ 5年に1回の頻度の定期点検の合間においては、日常パトロールを実施し、車両・歩行者通行の利便性や安全性を損なう恐れのある橋面舗装・伸縮装置・高欄等の異常の把握・改善を図ります。

2-4 対象橋りょうの長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

計画対象年次を2024年～2073年の50年間とし、下記の方針に従って予防保全型の管理を実施することで橋梁の安全性を確保しながら事業費の縮減を目指します。

(1) 橋梁の予防保全型の修繕に関する有り方(管理方針)について

【具体的な方針】

- ◇ 前回と同様に、損傷が発生してから対応する対症療法型の管理から、劣化の進行を予測して適切な修繕を実施する予防保全型の管理を行い、橋梁の長寿命化を図ります。
- ◇ 計画的、効率的管理の推進により、橋梁の長寿命化を実施し、維持管理コストの最小化を目指します。事業費は、単年度に予算が集中することを避け、平準化を行います。

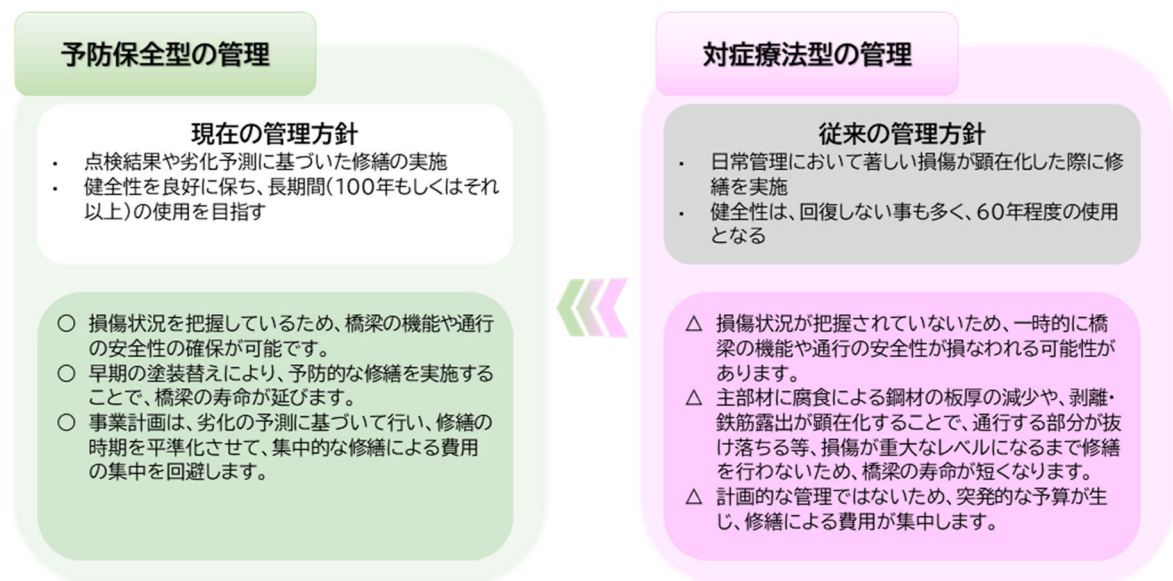


図 2-1 予防保全型の管理と対症療法型の管理

(2) 橋梁の立地条件、損傷状況を踏まえた予防的な対策の実施

【具体的な方針】

- ◇ 跨線橋等、重要度の高い橋梁について優先的に修繕を実施します。
- ◇ 重要度および健全性の判定を勘案した優先順位により修繕を実施します。

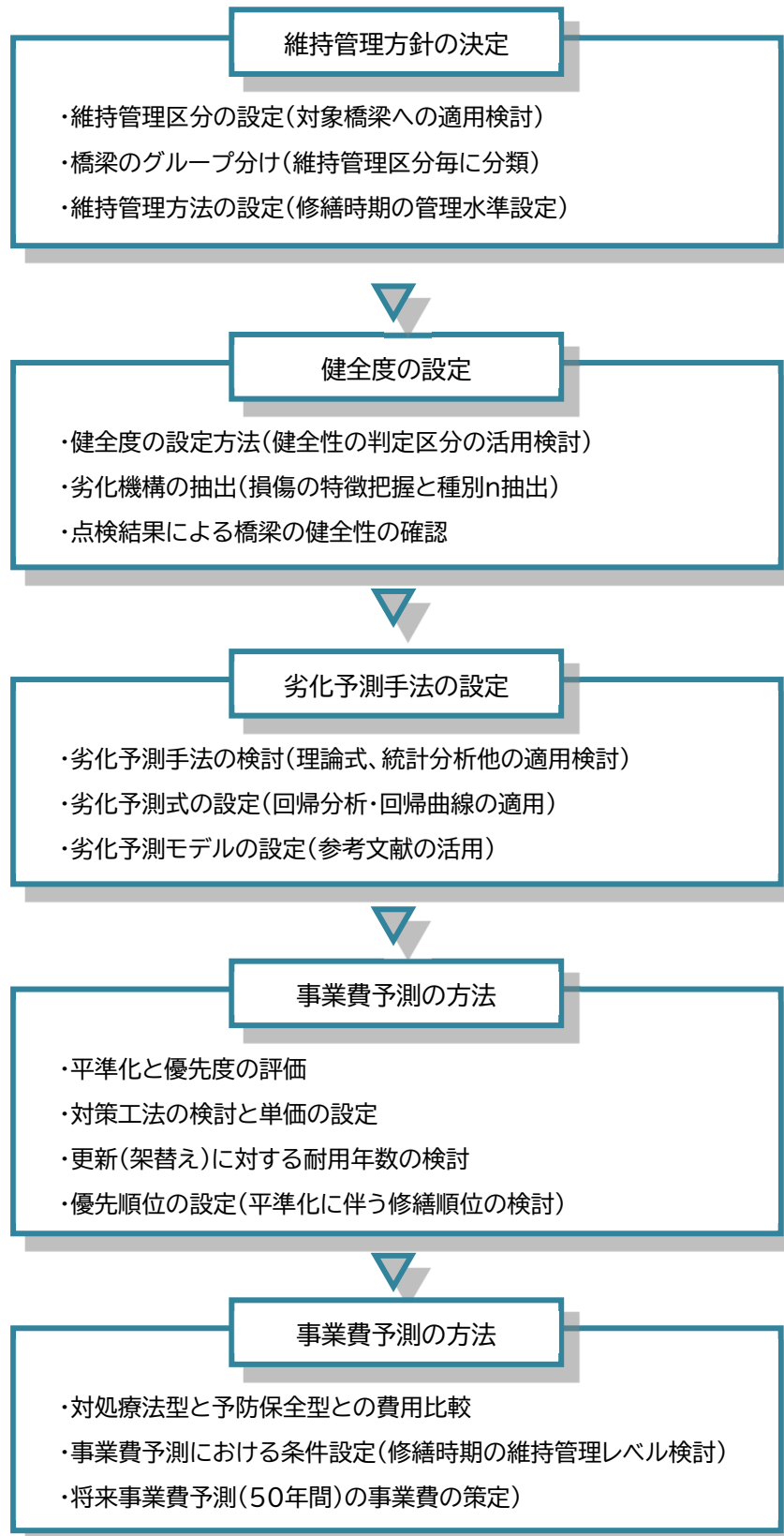
(3) 公表した個々の橋梁の予防保全型修繕の実施を徹底

【具体的な方針】

- ◇ 予防保全型の管理計画を実行して、進捗管理の徹底を図ります。

2-5 計画策定の手順

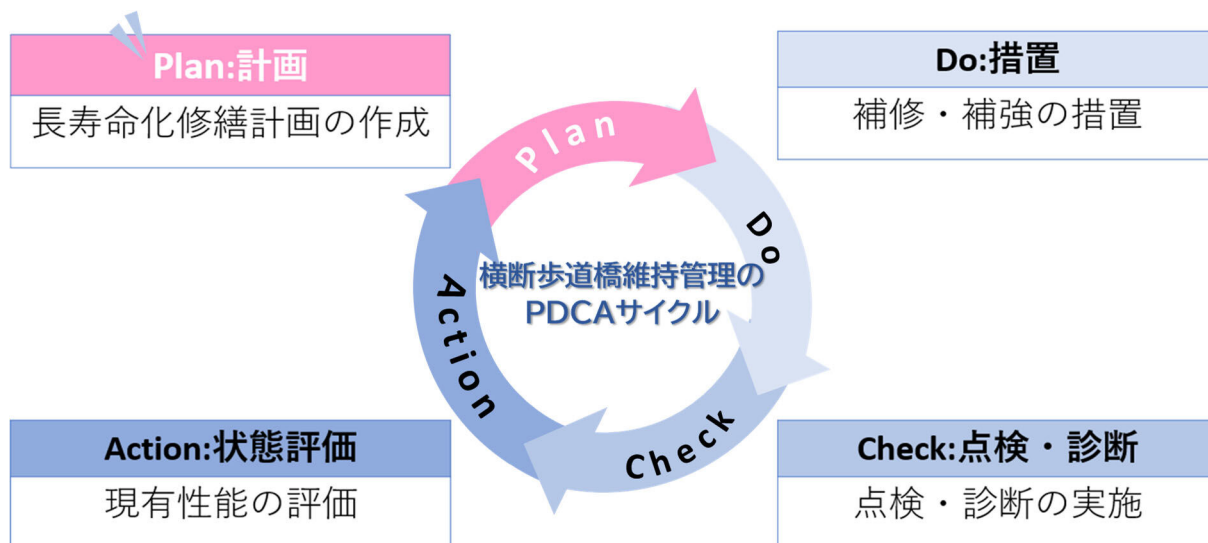
計画策定は下記の手順によって実施します。



2-6 計画の実施サイクル

計画の継続性と精度を高めるために、2024年度以後より5年に1回を基本として行われる最新の定期点検結果を参照して計画の見直し、更新を継続して実施します。点検結果や修繕工事の効果を定期的に計画に反映することによって、橋梁全体および部材の劣化予測等、計画の精度を高めるとともに、建設した施設の持続可能性と長期的な利活用を目指す「ストック型社会」の意識向上に努めながら計画を継続します

【計画のサイクル】



【更新時に見直す項目の例】

- ◇ 橋梁点検結果の蓄積と新たに得られた知見に基づく劣化予測の見直し
- ◇ 材料単価、労務単価、物価の変動等を考慮した補修工事費の見直し
- ◇ 橋梁の架け替え実績に基づく橋梁耐用年数の検証
- ◇ 新工法の採用による補修効果の見直し
- ◇ 新技術活用による定期点検の効率化
- ◇ 集約・撤去の検討や見直し

3. 管理橋りょうの現状

松戸市の管理する橋梁(道路橋)総延長は5.5km(331橋)であり、コンクリートを材料とする橋梁、水路を跨ぐ橋梁、線路を跨ぐ橋梁が多く、全体として小規模な橋梁が多数存在していることが特徴です。一方で、重要路線上の橋梁や第三者被害の可能性が考えられる橋梁も比較的多い状況です。

3-1 橋りょうの現状

図 3-1に管理橋梁の橋種別(上部工の主たる材料別)割合を示します。松戸市の管理する橋梁の8割程度がRC橋、PC橋、およびボックスカルバート等のコンクリートを主たる材料とする橋梁です。

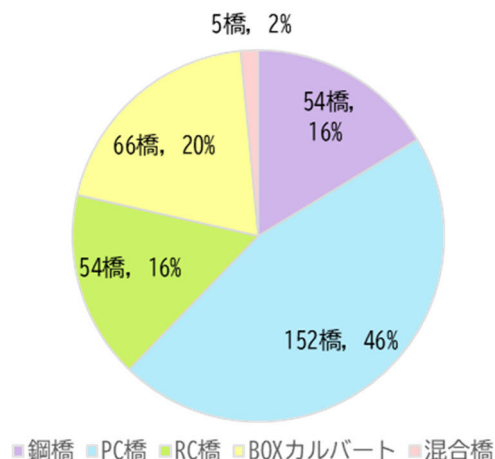


図 3-1 橋種別橋梁数

図 3-2は管理橋梁の橋長別橋梁数の割合、15m以上、15m未満の橋梁が占める延長の割合を示したものです。橋梁数では橋長15m 未満の橋梁が約6割以上を占めており、これらのうちコンクリート橋が9割を占めます。

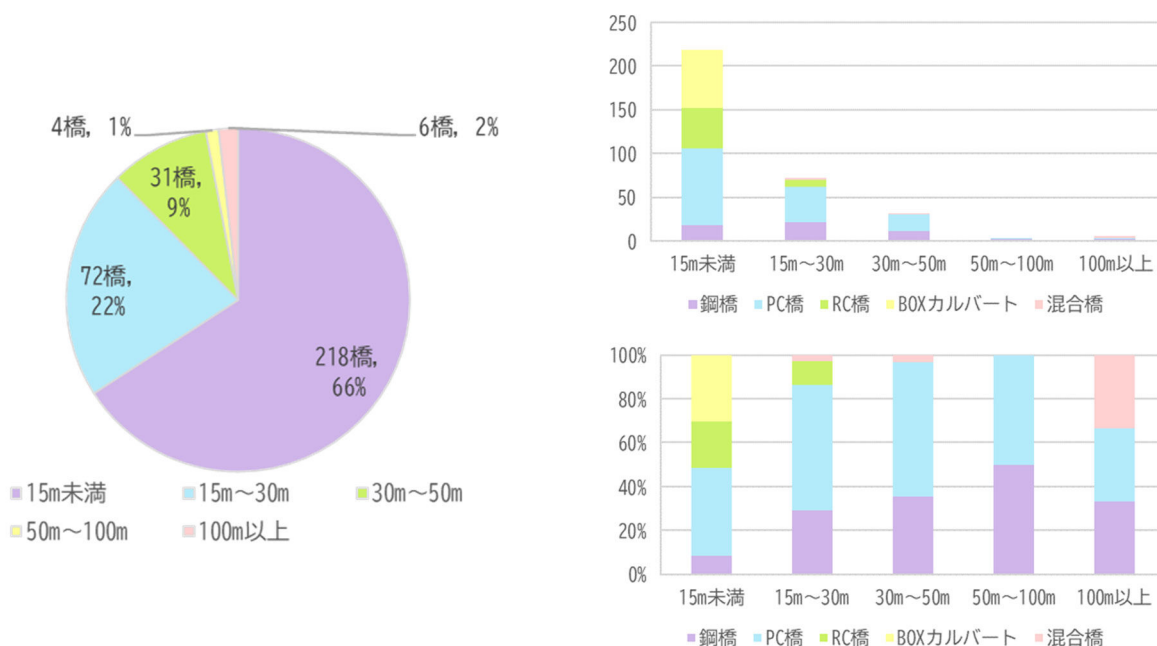


図 3-2 橋長区分別橋梁数

3-2 点検結果の分析

松戸市においては1巡目(平成26年度～30年度)、2巡目(令和元年度～4年度)の定期点検を実施済みであり、点検結果では一部の橋梁に損傷が認められるものの、管理橋梁全体での健全度は良好であると考えられます。

橋りょう毎の健全度では、緊急に措置を講ずべき状態であるⅣ判定の橋りょうは見られませんでした。早急に措置が必要なⅢ判定が29橋(9%)、損傷や劣化はあるものの橋りょうの機能に支障までは生じていないⅡ判定は162橋(49%)ありました。

健全度を橋種別で見ると、Ⅲ判定は鋼橋に11橋、PC 橋に8橋、RC 橋に7橋、BOX カルバートに1橋、混合橋に2橋あるものの、半数以上の橋りょうがⅡ判定と診断されています。

表 3-1 健全性の判定区分

区分		定義
I	健全	橋梁の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	橋梁の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	橋梁の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

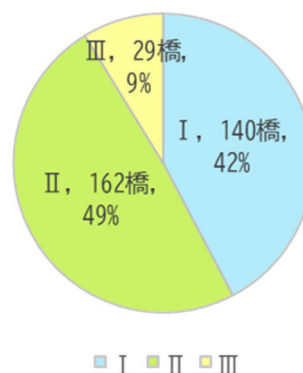


図 3-3 橋りょう毎の健全性診断結果(n=331)

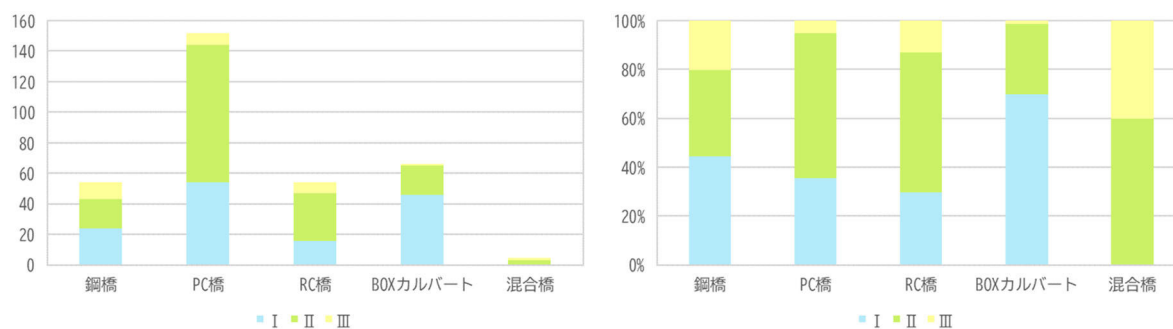


図 3-4 橋種別健全度

4. 維持管理方針の設定

松戸市では橋長2m程度の小規模な橋梁から橋長100mを越える長大橋梁、小さい水路を跨ぐ橋梁から鉄道、道路、公園を跨ぐ橋梁等、多種多様な橋梁を管理しています。

これらの橋梁を一律の方針で管理することは効率的でないため、規模、架橋位置、路線特性等の橋梁の特性に応じて、合理的な維持管理を実施します。

4-1 維持管理区分の定義

松戸市の管理する橋梁特性から、維持管理方針を下記に定義する二通りに分類して管理します。

4-2 維持管理区分の決定

(1) 維持管理区分

維持管理区分は表に示す通りとします。

表 4-1 計画策定上の維持管理の分類

グループ	管理水準
予防保全型	健全度Ⅱの段階で、優先的に修繕を行う。 集約・撤去は検討しない。
観察保全型	健全度Ⅲになった直後に修繕を行うが、 集約・撤去を今後の情勢により検討する。

(2) 橋梁の維持管理区分の決定方法

修繕計画策定において、橋梁の重要度を考慮したグルーピングを以下に示します。

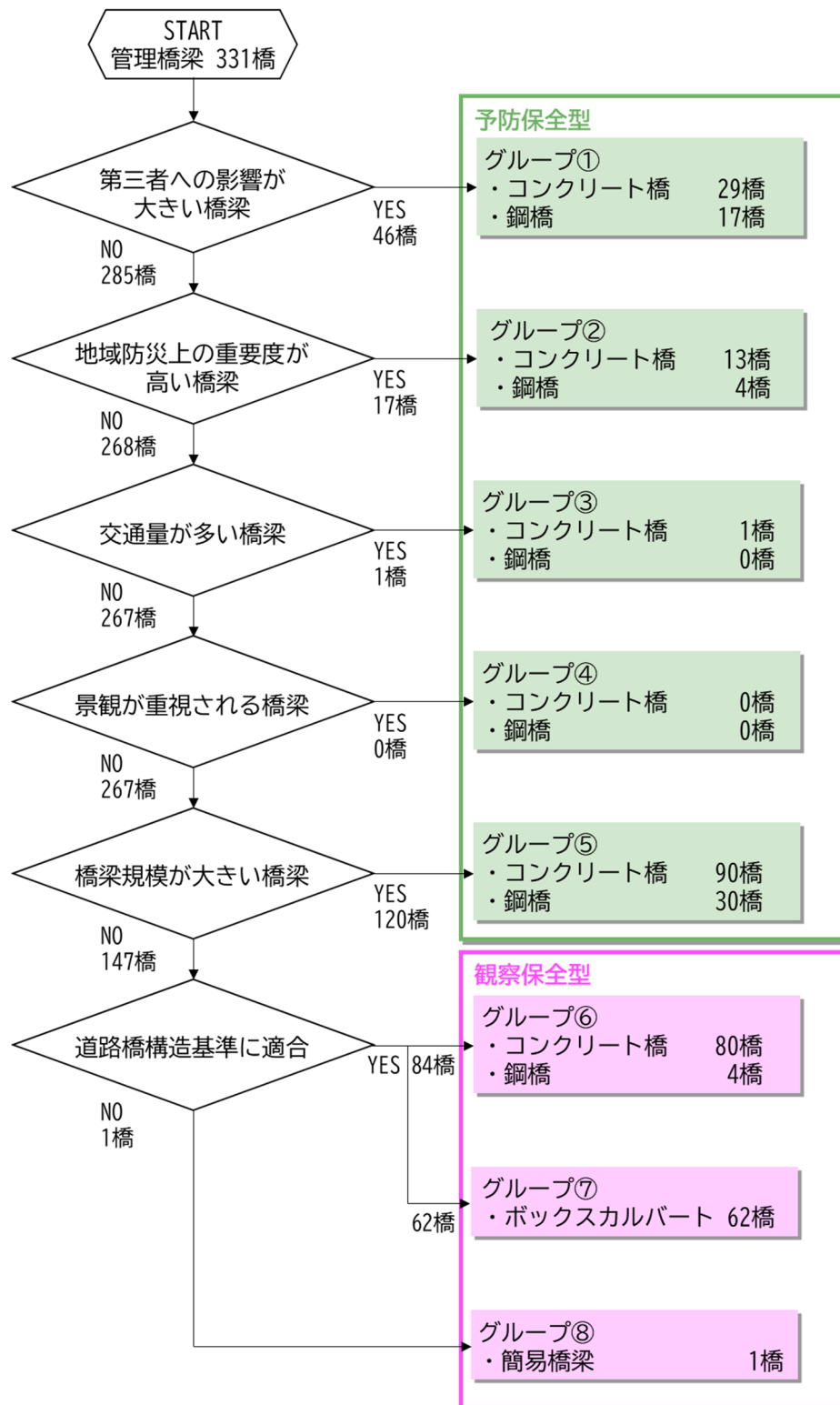


図 4-1 橋梁のグルーピングの分類のフロー

5. 健全性の設定

(1) 健全性

健全性の判定区分の定義は、「橋梁定期点検要領 国土交通省 道路局(平成31年2月)」および「道路橋定期点検要領 国土交通省 道路局 国道・技術課(平成31年3月)」に記載されています。

本業務の対象となる橋梁の健全性の診断は、上記の要領に準じて判定がされており、判定区分は法令で定められた4項目に区分されています。表 5-1に健全性の判定区分を示します

表 5-1 健全性の判定区分

区分		定義
I	健全	橋梁の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	橋梁の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	橋梁の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

(2) 劣化機構の抽出

定期点検の結果から、松戸市の橋梁における主な劣化機構を確認しました。

コンクリート部材としては、漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出、ひびわれ、うき、漏水・滞水の損傷が多く、鋼部材としては、防食機能の劣化、腐食の損傷がみられます。

表 5-2 鋼およびコンクリートの劣化機構

材料	劣化機構	劣化現象
鋼	材料劣化 (防食機能の劣化・腐食)	・塗膜の変色、耐食 ・ふくれ、はがれ ・鋼材の断面減少
コンクリート	材料劣化 (ひびわれ、剥離・鉄筋露出等)	・ひびわれ、漏水・遊離石灰 ・うき、剥離・鉄筋露出 ・鉄筋の腐食

6. 劣化予測手法の設定

計画的な維持管理の実施には、部材がどの段階でどの程度損傷するかを予測する必要があります。劣化予測手法は理論式や統計分析等があり、橋梁では国内で一般的な回帰曲線を設定する方法により、将来、部材に生じる損傷を予測する劣化予測モデルを設定します。

主要部材を対象に回帰曲線から劣化予測を行い、その結果から橋種別の劣化予測(耐用年数)を設定します。

表 6-1 橋梁の耐用年数(各健全性に至る年数)

橋種	経過年数ごとの代表健全度(点検サイクルの5年単位)																
	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	
PC橋	Ⅰ								Ⅱ				Ⅲ		Ⅳ		
RC橋	Ⅰ									Ⅱ					Ⅲ		Ⅳ
鋼橋	Ⅰ			Ⅱ			Ⅲ		Ⅳ								
その他	Ⅰ								Ⅱ				Ⅲ		Ⅳ		

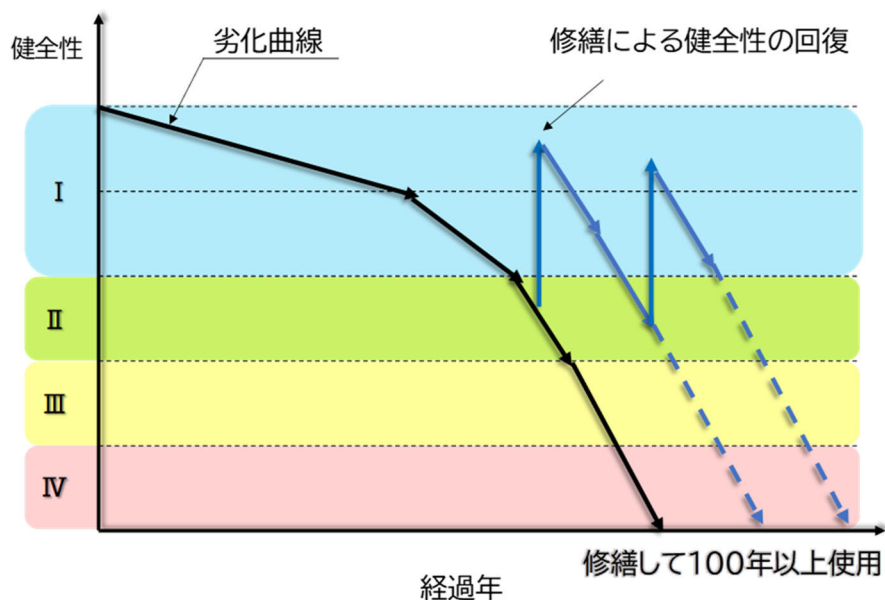


図 6-1 回帰曲線(劣化曲線)の概念図

7. 事業費予測の手法

7-1 事業費予測の基本的な考え方

前述の「維持管理方針」、「健全性の設定」、「劣化予測手法」において設定した条件の基に計画対象期間50年間ににおける橋梁の維持管理に関わる事業費を算出します。

本計画における「橋梁の維持管理に関わる事業費」とは以下に示す通り、計画期間内に必要となる「維持管理費(定期点検費用(諸経費込み)を含む)」+「架替え費」とします。

維持管理費	部材ごとの修繕費の和 + 定期点検費 + 修繕設計費
架替え費	新橋架設費 + 旧橋撤去費 + 仮橋費 + 新橋設計費

7-2 対策(修繕)工法・単価等の設定

橋梁の損傷に対する対策工法は、一般的な工法を選定しました。

単価については、積算による設定や国内での公表される文献等を参考に設定しました。

その他に計画策定に必要となる点検費、補修設計費は松戸市での過去の実績を参考に設定しました。

諸経費についても過去の実績を参考に設定しました。

7-3 橋りょうの更新(架替え)について

橋梁は松戸市内や周辺地域との交通ネットワークを構成するうえでの重要構造物であり、架替えや大規模修繕によって一時的にでも橋梁の機能が失われることは望ましくありません。

しかしながら、将来事業費を予測するうえでは耐久性と時間軸の相関概念が必要であり、現実的な維持管理を実施するために橋梁が安全性を確保できる期間を設定する必要があります。

なお、道路橋に関する技術基準である道路橋示方書では耐久性に関する目標期間を100年と設定しています。

よって本計画においても、上記や既往の文献を参考に、耐久性能を確保できる期間を以下の通り設定します。

【橋梁の耐用年数(寿命)設定】

「自治体管理・道路橋の長寿命化修繕計画 計画策定マニュアル(案)」より表 7-1、表 7-2に示す通りに設定します。

なお、予防保全型の維持管理を実施した場合については健全性がⅢとなる直前で、修繕を実施します。観察保全型については、健全性がⅢとなった時点で修繕を実施します。修繕は、健全性Ⅰである健全な状態を目指して実施し、健全性がⅣ(修繕を実施しても健全な状態にならない)となった段階で、更新(撤去または架替え)を行う手法になります。

表 7-1 予防保全型の維持管理を実施した場合

橋種	架橋地点	適用示方書	更新までの年数
鋼橋	—	昭和 39 年示方書以前	70
		昭和 47 年示方書以降	100

表 7-2 対症療法型の維持管理を実施した場合

橋種	架橋地点	適用示方書	更新までの年数
鋼橋	—	—	60

※予防保全型と対症療法型の比較検討用

7-4 優先順位の設定

優先度評価橋梁のグルーピングの指標を橋梁の重要度、定期点検での評価(健全度Ⅰ～Ⅳ)を適用していきます。

■橋梁の健全度(Ⅰ～Ⅳ)／点検年度／グルーピング

跨線橋等については関係機関との調整を考慮・反映し検討します。

8. 将来事業予測

8-1 対症療法型と予防保全型との費用比較

対象療法型の維持管理は、損傷や劣化が進行し、顕在化した後に対策を行う方法であり、国内で進められる、損傷や劣化が軽微なうちに修繕を行う予防保全型よりも長期的には費用が増大します。

松戸市では5年毎に改訂される長寿命化計画も3巡目を迎え、予防保全型の維持管理を少なくとも15年間は継続しています。その結果、橋梁の損傷は改善され概ね健全な状態に保たれています。

図 8-1は、対症療法型の管理を実施した際の事業費と本計画で策定した予防保全型との事業費の比較となります。その結果、計画対象期間50年間では、対症療法型と比較して予防保全型での維持管理を行うことで、720億円(約64%)の事業費の削減となります。

よって、松戸市では、今後も予防保全型の維持管理手法を継続していきます。

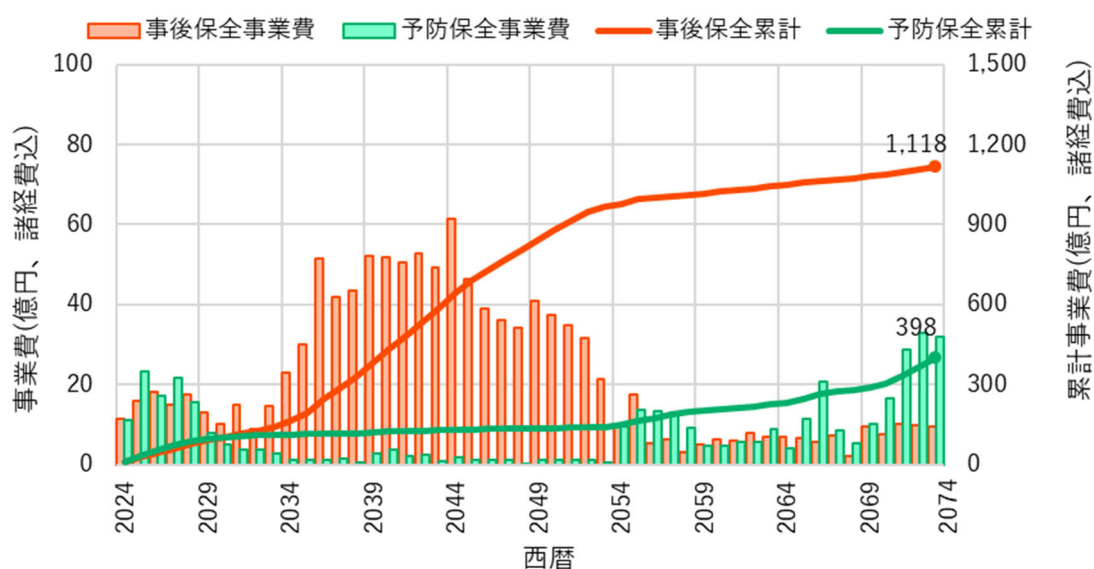


図 8-1 予防保全型と対症療法型との事業費の比較

8-2 事業費予測における条件設定

事業費の算出にあたり、損傷の健全性の状態に応じて、いつ修繕するかを決定する必要があります。松戸市では、橋梁の修繕にあたり維持管理の区分を行っています。よって、修繕のタイミングは、維持管理の区分毎に管理水準(健全性の診断区分)を設定することとしました。

予防保全型:健全性がⅡの末期、Ⅲになる直前

観察保全型:健全性がⅢとなった段階

9. 長寿命化修繕計画による事業費の策定

予防保全型の事業費のうち補修費は平準化の結果、当初10年は毎年10億円となる。
 予防保全シナリオの耐用年数は100年とし、更新は2065年より増加傾向となる。
 50年間の合計費用は398億円である。

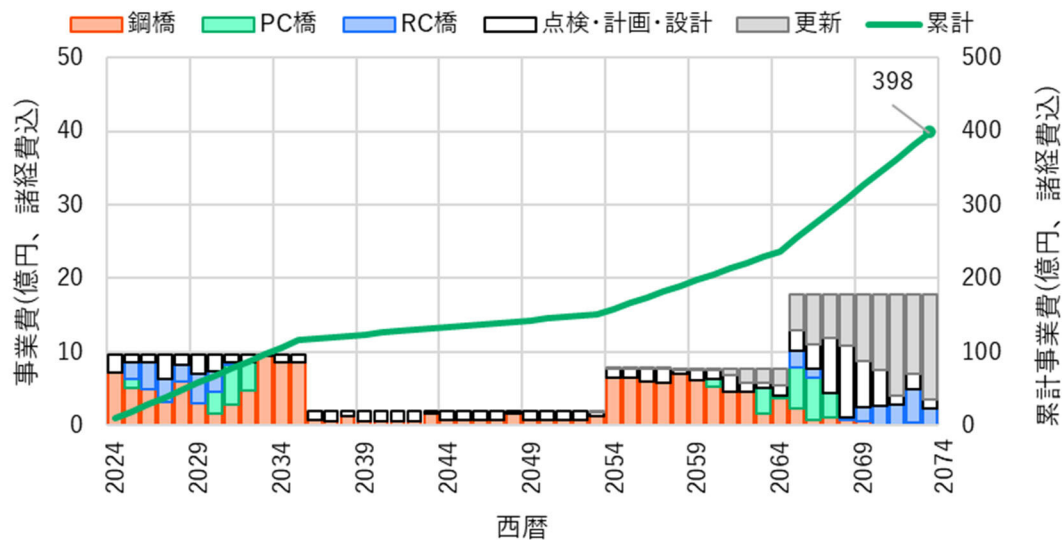


図 9-1 概算事業費(予防保全・平準化後)

10. 新技術の活用

今後の橋梁の大規模補修費・更新費等の維持管理費の増加が懸念されるなか、老朽化が進行する橋梁への対応にあたり、新技術等を活用し、長期的な維持管理費用の縮減に取り組みます。

10-1 点検技術の検討

「点検支援技術性能カタログ(橋梁・トンネル)(令和5年3月)(以下「性能カタログ」)」に掲載されている技術について検討を行いました。松戸市の橋梁は市街地に架橋され、新技術であるUAV等の活用は現時点では規制等により適用が難しい状況と判断し、また、費用の面でも効果が現状ではないため、本計画では点検での新技術の活用は、行わないこととしました。

ただし、点検での新技術の進歩は明確であり、技術の精度や信頼性等について国内の動向や実施状況等を把握に努め、適用による効果の検証・検討することに努めます。

10-2 修繕技術の検討

コンクリートの断面補修を対象として、コンクリート構造物の断面修復材料「ゴムラテシリーズ」(NETIS 登録番号:QS-150017-VE)の活用を検討しました。本技術の経緯と期待できる効果について、以下に述べます。

市の管理する橋梁ではコンクリート橋が多く、コンクリート部材の一般的な損傷であるはく離・鉄筋露出への断面補修を対象としました。検討する技術は乾燥収縮が小さく、付着性能に優れるため、既存床版と強固な一体化を実現できる技術とあります。また、中性化、塩害(凍結防止の影響)等の劣化因子に対し、耐久性が期待できるとあります。

単価については記載される単価と従来の技術の積算単価を適用し工事費を比較した結果、約20%の費用縮減効果を確認しました。

10-3 新技術を活用した際の費用縮減効果

本計画での2024年から2028年までにコンクリート部材(主桁、床版)を修繕する橋梁は5橋となります。

5橋を対象とした縮減される費用は約86万円(事業費)となります。

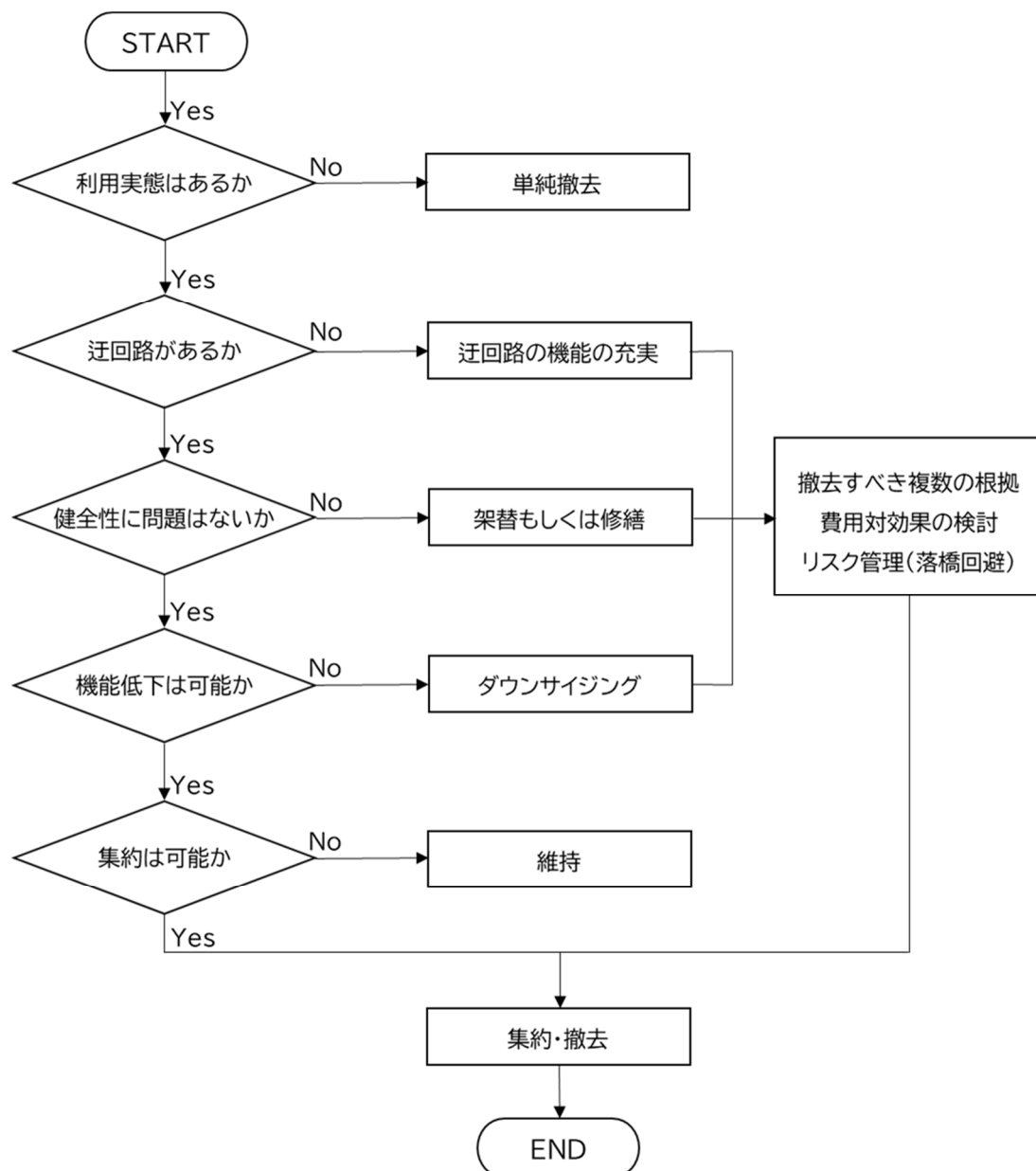
11. 集約化・撤去の方針

11-1 集約化・撤去の方針

橋梁の予防保全型の維持管理による長寿命化を図るとともに、橋梁の集約化・撤去に取り組み、将来の維持管理の費用や管理の軽減を図ることが重要となります。

橋梁の利用実態、迂回路の有無、健全性の問題、橋梁の機能低下の可否、集約化の可否などを考慮し、橋梁の集約化・撤去の検討に取り組みます。

集約化・撤去の検討の方針に関するフローを以下に示します。



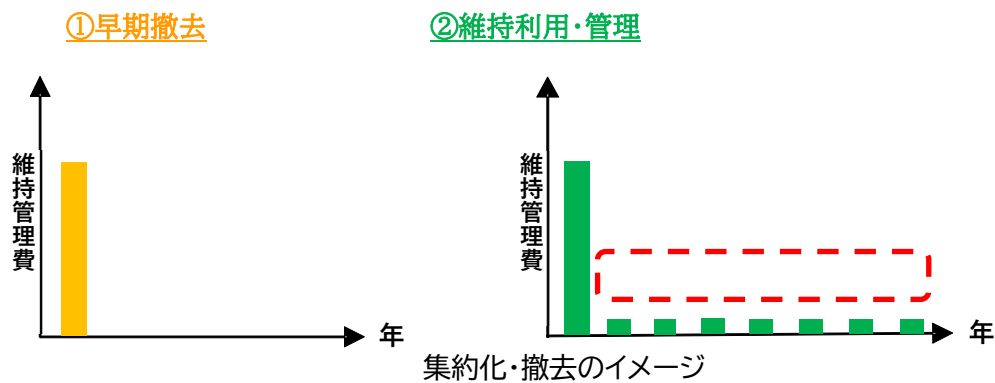
11-2 集約化・撤去を行った際の費用削減の効果

(1) 検討・試算の条件

今回の検討・試算では、利用者の少ない鉄道を跨ぐ人道橋2橋を撤去の対象としました。
コスト削減は、早期の撤去のケースと維持管理を継続・利用したケースでの比較をしました。

早期撤去：撤去の単価は国総研の「国総研資料 第1112号 橋梁の架替に関する調査結果(V)」
に記載の鋼橋を適用

維持利用・管理：今後50年間の利用、点検と補修のコストを考慮
点検は5年サイクル 10回
補修は塗装 15年サイクル 3回



(2) コスト削減の結果

跨線人道橋2橋を対象に検討・試算をした結果、約30%(540万)のコスト削減が想定されます。

12. 対象施設毎の次回点検時期及び修繕の時期

松戸市の管理する橋梁331橋について2024年から2028年までの点検および修繕の内容を巻末の別表に示します。

13. 計画策定担当部署

計画策定を担当した部署は下記の通りです。

松戸市 建設部 道路維持課 TEL 047-366-7358

14. 長寿命化修繕計画にあたり意見聴取を行った学識経験者

松戸市により策定した計画について、橋梁および横断歩道橋に係る専門知識を有する学識経験者に意見聴取を実施し、計画の検証を行っています。意見聴取を行った学識経験者は下記の通りです。

法政大学 デザイン工学部 環境都市デザイン工学科

教授 みぞぶち としあき
溝渕 利明

15. 長寿命化計画に使用する語句の整理

1) 長寿命化修繕計画

長寿命化修繕計画は、「インフラ長寿命化基本計画」(平成25年11月:インフラ老朽化対策に推進に関する関係省庁連絡会議)に基づき高齢化する橋梁、トンネル等に対して国や地方公共団体が作成するものです。

旧来からの損傷が「顕在化してから修繕を行う手法」より、「顕在化する前の軽微な状態で修繕を行う手法」への転換を図り、計画的かつ予防保全型の維持管理を実践するための計画です。

2) 架替え

橋梁が修繕を行っても安全に利用することができなくなった場合に、現在の橋梁を撤去して、新しい橋梁を架けることです。

3) 予防保全型の管理

橋梁の損傷が進んで安全に利用できなくなる直前で修繕を行うと、工事の期間が長くなり多額の費用を要することになります。予防保全型の管理は、損傷が軽いうちに修繕を行うことで費用を節減することができ、供用期間中のトータルコストを計画的に縮減すること及び安全性の確保を図ることを目的とした維持管理手法です。

4) 対症療法型の管理

橋梁の損傷が進んで安全に利用できなくなる直前で修繕を行う維持管理手法です。重大な損傷が顕在化してからの修繕となるため工事が大規模となり多額の費用を要します。維持管理の効率化を図るため、近年では対象療法型の管理から予防保全型の管理への転換が図られています。

5) 横断歩道橋

横断歩道橋とは、車道を横断する歩行者等を、車道から立体的に分離することにより、車と歩行者等との交通事故を未然に防ぎ、歩行者等が安全に道路を横断することを目的として架けられた立体横断施設です。

松戸市では7橋の横断歩道橋を管理しています。

6) ペDESTリアンデッキ

横断歩道橋のうち、駅と周辺商業施設とを接続して作られ(整備され)、歩道のほか広場などの機能を合わせ持つ施設もあり、これらをペDESTリアンデッキと呼びます。本計画書では、前回の計画書を継承して「多方向に接続・連絡している歩道橋」と定義します。

松戸市では、松戸駅東口、松戸駅西口、北小金駅南口の3橋を管理しています。

7) 定期点検

橋梁の定期点検は、日常的に市民の皆様が安全に利用できることや、落下による通行車両等への第三者被害を防ぐために、損傷の早期発見を目的として5年に1回の頻度で実施することを基本としています。定期点検結果は健全な状態をⅠとしてⅣまでの4段階で評価を行い、この結果を参照して修繕の時期を決めています。

8) 日常的な維持管理

市の担当職員が、橋梁の機能を良好に保つため定期点検に加え、日常的な点検により施設の状態を把握して、都度ごとに適切な維持管理対策を実施しています。

9) 損傷

橋梁を構成する部材が、雨風等の自然環境の作用により、時間の経過とともに錆などの劣化が発生することです。また地震や水害等により構成部材が変形や欠損する損傷が発生することもあります。

10) 修繕

橋梁に損傷が発生したときに、その損傷を修理して元通りの機能を回復させる工事のことです。

11) 緊急輸送道路・災害時重要路線図

松戸市が定める災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な災害時重要路線です。災害時重要路線は「松戸市地域防災計画 資料編」に県指定緊急輸送道路(1次路線・2次路線)、市災害時重要路線及び市災害時重要路線(指定路線)が示されています。

12) 第三者への影響

橋梁を構成する部材の一部が桁下に落下することにより、桁下を利用する第三者が被る被害を指します。主に跨線橋や跨道橋等が該当します。

13) 優先順位

優先順位は、複数の橋梁の損傷が、同じ時期に同じ程度であった時に、予算の制限がある場合には修繕の順番を決める必要が生じてきます。このように複数の橋梁について修繕を行う順番のことを優先順位といいます。優先順位は維持管理区分、架設年、駅への接続、緊急輸送路等を考慮して順位を決定しています。

14) 維持管理区分

維持管理区分は橋梁を安全に使用し続けるための管理方法を区分したもので、松戸市の橋梁では利用環境に応じて「予防保全型」と「観察保全型」に区分しています。「予防保全型」は、健全性がⅢになる前に修繕を実施します。「観察保全型」は、健全性がⅢになった時点で修繕を実施します。

15) 劣化機構

劣化機構は橋梁の構成部材が劣化(時間の経過とともに損傷が進行すること)する状態を種別したものです。橋梁の主な構成部材は鉄(鋼)とコンクリートとなります。劣化機構は鉄(鋼)での塗装の劣化機構を表す「防食機能の劣化」や錆の状態を表す「腐食」、コンクリートのひびわれやはく離・鉄筋露出という劣化機構として表記しています。

16) 劣化予測モデル

健全度性を予測する手法の標準となるもので、代表的なモデルは点検結果を統計分析した回帰分析による劣化予測です。

17) 回帰分析

損傷の進み具合と経過年数の二つのデータの関係を分析して、データどうしの関係性を数式化して表した曲線(回帰曲線)により劣化予測を行う分析方法です。

18) PDCA サイクル

PDCAサイクルは、企業における生産や品質などの管理業務を継続的に改善する技術として提案された経営手法です。その内容は、管理業務のプロセスを「Plan(計画の立案)」、「Do(事業の実施)」、「Check(進捗状況の把握)」、「Action(対策の検討)」の4つの作業に分類し、これを繰り返して実施することで、継続的に管理業務を改善します。橋梁の維持管理では、「Plan(長寿命化計画)」、「Do(補修・補強の措置)」、「Check(点検・診断の実施)」、「Action(現有性能の評価)」のサイクルで実施しています。

19) スtock型社会

ストック型社会とは、橋や道路などのインフラ施設に対して予防保全型の管理を活用して長寿命化を図り、耐久性に優れた持続性のある社会資産としてストック(蓄積)し、インフラ施設を長く大切に使うことができるようにしていく社会のことです。

20) 健全性(健全性の判定区分)

健全性は橋梁が正常に使用できるかどうかを点検結果より診断します。健全性の診断はⅠ～Ⅳの4段階に区分されており、Ⅰが健全な状態でⅡ、Ⅲと順次状態が悪くなり、Ⅳに至ると緊急に修繕を行わなければならない状態として判定します。

21) 化粧材

化粧材はペDESTリアンデッキの上部工を覆うことにより風雨などの劣化要因から主桁等の骨格となる構成部材を保護し長寿命化を図るための外装材です。外装材は上部工の下面を保護する天井パネルと側面を保護する側面パネルがあり、これを総称して化粧材と定義しました。

22) 道路橋示方書

道路橋示方書は、「橋、高架の道路等の技術基準」として国土交通省から通知され、橋の設計及び施工に適用されている。最新の改定は平成29年11月版で「Ⅰ 共通編」「Ⅱ 鋼橋編」「Ⅲ コンクリート橋編」「Ⅳ 下部構造編」「Ⅴ 耐震設計編」の5編から構成されています。

巻末－別表

凡例 ●：点検 ○：設計 ◎：修繕 □：架替
■：撤去 ☆：修繕中・協議済 ※：協議開始予定

No	国交省作業番号	橋梁名	路線名	架設年	橋長 (m)	全幅員 (m)	橋種	所在地	点検結果		対策の時期					対策内容	設計費用 (万円)	補修費用 (万円)		
									年度	判定区分	2024年 R6	2025年 R7	2026年 R8年	2027年 R9年	2028年 R10					
1	BR0-122076-00001	あさご線橋	主要幹線1級市道32号線	1971	310.86	8.8	鋼溶接橋	南花島田	2021	Ⅲ		●			◎	ひびわれ注入	1,000	11,932.5		
2	BR0-122076-00002	長津橋 1	主要幹線1級市道2号線	1971	265.8	10.8	R C橋	中根字中津	2022	Ⅲ			◎	●		◎	再塗装、断面補修	1,000	116,542.0	
16	BR0-122076-00016	主水新田 3号橋	1地区920号線	1972	2.07	3.3	P C橋	主水新田字真菰沼	2019	Ⅲ	●									
25	BR0-122076-00025	本郷こ線人道橋	6地区40号線	1975	27.7	2.65	鋼溶接橋	上本郷字花下	2020	Ⅲ	●									
34	BR0-122076-00034	森の橋	主要幹線1級市道10号線	1989	77.9	22	P C橋	千駄堀字南屋敷	2019	Ⅲ	●			○						
10	BR0-122076-00010	幸谷宮下橋	1地区524号線	1972	4.08	7.18	R C橋	幸谷字宮下	2022	Ⅲ		●	◎				断面補修	200	190.0	
12	BR0-122076-00012	中塚 1 2号橋	6地区179号線	1982	3.2	4.5	R C橋	栄町字一丁目	2022	Ⅲ		◎		●			断面補修	200	93.5	
13	BR0-122076-00013	南花島 2号橋	5地区525号線	1982	2.96	5.6	R C橋	南花島字一丁目	2021	Ⅲ	●	◎	●				断面補修	200	141.2	
15	BR0-122076-00015	南花島 4号橋	5地区514号線	1982	2.72	5.5	R C橋	南花島字一丁目	2021	Ⅲ		◎	●				断面補修	200	93.5	
18	BR0-122076-00018	岩瀬こ線人道橋	6地区333号線	1971	54.4	3.6	鋼溶接橋	根本字金作	2022	Ⅲ					●	◎				
19	BR0-122076-00019	三村こ線人道橋	1地区583号線	1980	47.65	2.64	鋼溶接橋	馬橋字岩崎	2022	Ⅲ				●						
21	BR0-122076-00021	競輪場前こ線人道橋	6地区23号線	1974	39.2	3.6	鋼溶接橋	北松戸字一丁目	2021	Ⅲ		◎	◎	◎			再塗装	1,000	10,652.8	
22	BR0-122076-00022	小山こ線人道橋	6地区476号線	1970	37.4	2.9	鋼溶接橋	松戸字戸定下	2022	Ⅲ		※	◎	◎	◎	◎	◎	再塗装	1,000	13,645.4
23	BR0-122076-00023	小金城趾駅跨線橋	1地区931号線	1981	33.57	2	鋼溶接橋	中金杉	2022	Ⅲ			◎	◎			再塗装	900	9,000.0	
24	BR0-122076-00024	金山こ線人道橋	6地区260号線	1970	31.9	2.67	鋼溶接橋	根本字斎師	2021	Ⅲ		●								
26	BR0-122076-00026	東雷こ線人道橋	1地区320号線	1970	25.45	2.64	鋼溶接橋	東平賀字仲通	2022	Ⅲ				●		◎				
27	BR0-122076-00027	松戸新田こ線人道橋	5地区413号線	1973	14.42	1.8	鋼溶接橋	松戸新田字庚申前	2022	Ⅲ			◎	◎			再塗装	200	1,706.1	
29	BR0-122076-00029	神田川 9号橋	6地区413号線	1988	3.15	3.32	P C橋	松戸字宮田	2021	Ⅲ		◎	●				断面補修	200	46.8	
17	BR0-122076-00017	日暮こ線道路橋	主要幹線2級市道77号線	1974	15.5	12.6	R C橋	日暮字西ノ作	2020	Ⅲ	●	◎					断面補修	1,000	26,548.7	
20	BR0-122076-00020	新作こ線人道橋	6地区543号線	1966	41.6	3.04	鋼溶接橋	新作字船付	2020	Ⅱ	●				※	◎	再塗装	756	7,568.7	
32	BR0-122076-00032	広場の橋	主要幹線1級市道10号線	1989	153.9	22	P C橋	千駄堀字向田	2019	Ⅲ	●									
33	BR0-122076-00033	和名ヶ谷橋	主要幹線1級市道23号線	1986	79.9	16	鋼溶接橋	和名ヶ谷字下水堤	2019	Ⅱ	●									
35	BR0-122076-00035	主水中橋	1地区917号線	1981	73.29	7.2	P C橋	主水新田字仲田	2019	Ⅲ	●			◎						
37	BR0-122076-00037	川向橋	1地区976号線	1987	48.47	7.2	鋼溶接橋	横須賀字川向	2019	Ⅲ	●									
38	BR0-122076-00038	横須賀橋	主要幹線1級市道5号線	1980	46.48	19	P C橋	横須賀字前通	2020	Ⅲ	●									
41	BR0-122076-00041	関の橋	1地区799号線	1975	45.41	10	P C橋	新松戸六丁目	2020	Ⅲ	●									
42	BR0-122076-00042	差向橋	1地区810号線	1975	45.4	10	P C橋	新松戸五丁目	2020	Ⅲ	●									
43	BR0-122076-00043	金切橋	主要幹線2級市道59号線	1980	45.34	6.2	P C橋	旭町字三丁目	2019	Ⅲ	●									
52	BR0-122076-00052	樋野口橋	主要幹線2級市道64号線	1962	19.06	11	P C橋	根本字字方	2020	Ⅲ	●									
30	BR0-122076-00030	長津橋 2	主要幹線1級市道2号線	1984	265.8	10.4	鋼溶接橋	中根字中津	2022	Ⅲ			◎	●			再塗装、断面補修	1,000	76,977.9	
31	BR0-122076-00031	岩瀬こ線橋	主要幹線1級市道30号線	1981	260.5	8.4	鋼溶接橋	小根本字山中	2022	Ⅲ					●					
55	BR0-122076-00055	小山登校橋	6地区499号線	1961	17.12	4.7	P C橋	小山字屋敷添	2019	Ⅲ	●									
57	BR0-122076-00057	新坂川 8号橋	主要幹線1級市道2号線	1971	16.7	8.5	P C橋	馬橋字長津	2019	Ⅲ	●									
64	BR0-122076-00064	第 1 ハッ崎こ線道路橋	2地区385号線	1971	15.05	6.65	P C橋	ハッ崎緑町	2020	Ⅲ	●									
65	BR0-122076-00065	六間川 2号橋	6地区76号線	1983	14.86	5.2	P C橋	古ヶ崎字庚塚	2020	Ⅲ	●									
72	BR0-122076-00072	第 2 ハッ崎こ線道路橋	主要幹線2級市道17号線	1973	12.6	5.6	P C橋	ハッ崎字宮前	2020	Ⅲ	●									
75	BR0-122076-00075	第 1 門前こ線道路橋	5地区182号線	1974	12.1	4.7	P C橋	千駄堀字清水台	2020	Ⅲ	●									
84	BR0-122076-00084	富士見橋	1地区584号線	1983	9.72	4.9	鋼溶接橋	馬橋字餅田	2020	Ⅲ	●									
39	BR0-122076-00039	大金平大橋	主要幹線1級市道6号線	1986	46.2	16.8	鋼溶接橋	大金平字五丁目432-2先	2022	Ⅲ			●							
40	BR0-122076-00040	稲荷大橋	主要幹線2級市道3号線	1978	45.62	8.7	P C橋	旭町字二丁目	2022	Ⅲ			●							
86	BR0-122076-00086	橋本橋	6地区145号線	1968	9.45	3.1	P C橋	古ヶ崎字三枚田	2020	Ⅲ	●									
90	BR0-122076-00090	六間川 5号橋	6地区149号線	1980	8.46	3.2	P C橋	古ヶ崎字供養塚	2020	Ⅲ	●									
94	BR0-122076-00094	ニツ木幹線 8号橋	1地区514号線	1988	7.38	6.44	R C橋	ニツ木字渡崎	2021	Ⅲ	●									
99	BR0-122076-00099	神明堀 5号橋	1地区862号線	1988	6.1	12	P C橋	主水新田字仲田	2021	Ⅲ	●									
100	BR0-122076-00100	ニツ木幹線 7号橋	1地区528号線	1988	6.05	6.1	P C橋	幸谷	2021	Ⅲ	●									
101	BR0-122076-00101	河原塚 5号橋	4地区393号線	1988	6	8.1	P C橋	河原塚字庚申前	2021	Ⅲ	●									
102	BR0-122076-00102	古ヶ崎北幹線 5号橋	6地区84号線	1988	5.98	6.02	P C橋	古ヶ崎字四丁目	2021	Ⅲ	●									
48	BR0-122076-00048	矢切橋	主要幹線2級市道95号線	1991	33.25	16.07	P C橋	下矢切字坂下	2021	Ⅲ			●							
104	BR0-122076-00104	河原塚 2号橋	4地区412号線	1988	5.32	6.38	P C橋	河原塚字庚申前	2021	Ⅲ	●									
110	BR0-122076-00110	中塚 6号橋	主要幹線2級市道55号線	1982	5	8.01	P C橋	栄町字四丁目	2020	Ⅲ	●									
51	BR0-122076-00051	高田橋 (新坂川 1 0号橋)	6地区547号線	1988	21.63	10.2	P C橋	中根字船付	2022	Ⅲ			●							
172	BR0-122076-00172	神明堀 8号橋	主要幹線2級市道2号線	1988	5.8	12.6	R C橋	主水新田字落沼	2021	Ⅲ	●									
183	BR0-122076-00183	にしみの歩道橋	8地区402号線	1971	26.9	1.94	鋼溶接橋	松戸字西美野	2019	Ⅲ	●									
184	BR0-122076-00184	坂川 4号橋	6地区393号線	1971	17.5	2.9	鋼溶接橋	松戸字平沼	2019	Ⅲ	●									
185	BR0-122076-00185	栄西歩道橋	6地区110号線	1982	14.77	3.4	鋼溶接橋	栄町字西三丁目	2019	Ⅲ	●									
187	BR0-122076-00187	藍橋	6地区402号線	1966	12.41	2.42	鋼溶接橋	松戸字二丁目	2019	Ⅲ	●									
189	BR0-122076-00189	平賀川 2号橋	1地区309号線	1982	4.08	1.46	鋼溶接橋	東平賀字城町	2019	Ⅲ	●									
191	BR0-122076-00191	坂川 2号橋	6地区175号線	1983	16.64	2.59	鋼溶接橋	栄町字一丁目	2021	Ⅲ	●				◎					
62	BR0-122076-00062	幸谷橋	1地区793号線	1984	15.64	6.2	P C橋	旭町字三丁目	2022	Ⅲ				●						
63	BR0-122076-00063	中基橋	6地区107号線	1980	15.33	7.2	P C橋	栄町字西二丁目	2022	Ⅲ				●						
68	BR0-122076-00068	のぞみ橋	7地区688号線	1988	7.44	7.2</														

凡例 ●：点検 ○：設計 ◎：修繕 □：架替
■：撤去 ☆：修繕中・協議済 ※：協議開始予定

No	国交省作業番号	橋梁名	路線名	架設年	橋長 (m)	全幅員 (m)	橋種	所在地	点検結果		対策の時期					対策内容	設計費用 (万円)	補修費用 (万円)
									年度	判定区分	2024年 R6	2025年 R7	2026年 R8年	2027年 R9年	2028年 R10			
133	BR0-122076-00133	小金飛地 2 号橋	1地区 753号線	1982	4.05	4.5	P C 橋	小金飛地字細沼	2021	Ⅱ		●						
135	BR0-122076-00135	長津川支線 1 号橋	5地区 229号線	1982	3.85	6.9	P C 橋	上本郷字下寒風	2021	Ⅱ		●						
136	BR0-122076-00136	中堰 1 4 号橋	6地区 177号線	1982	3.75	4.15	P C 橋	古ヶ崎字一丁目	2022	Ⅱ			●					
137	BR0-122076-00137	中堰 1 3 号橋	6地区 178号線	1982	3.68	4.5	P C 橋	栄町字一丁目	2020	Ⅱ		●						
138	BR0-122076-00138	長津川支線 2 号橋	5地区 234号線	1982	3.63	4.5	P C 橋	中和倉字後谷津	2021	Ⅱ		●						
139	BR0-122076-00139	二ツ木幹線 1 号橋	2地区 390号線	1988	3.61	9	R C 橋	二ツ木字溜井下	2022	Ⅱ			●					
140	BR0-122076-00140	中堰 1 0 号橋	6地区 43号線	1982	3.58	8	P C 橋	栄町字二丁目	2020	Ⅱ		●						
141	BR0-122076-00141	中堰 1 号橋	6地区 53号線	1982	3.55	8.1	R C 橋	栄町字七丁目	2020	Ⅱ		●						
142	BR0-122076-00142	みさき川 2 号橋	6地区 137号線	1964	3.53	5	R C 橋	古ヶ崎字一丁目	2020	Ⅱ		●						
144	BR0-122076-00144	長津川 8 号橋	5地区 135号線	1982	3.3	6.6	R C 橋	中和倉字後谷津	2021	Ⅱ		●						
146	BR0-122076-00146	長津川 6 号橋	5地区 134号線	1982	3.12	5	R C 橋	新作字二階	2021	Ⅱ		●						
147	BR0-122076-00147	栄町 6 号橋	6地区 110号線	1988	3	4.5	R C 橋	栄町字西三丁目	2020	Ⅱ		●						
148	BR0-122076-00148	長津川 5 号橋	5地区 230号線	1982	2.82	9	R C 橋	中和倉字後谷津	2022	Ⅱ			●					
149	BR0-122076-00149	前田川 3 号橋	5地区 95号線	1982	2.8	7.5	R C 橋	馬橋字南竜房	2021	Ⅱ		●						
150	BR0-122076-00150	主水新田 2 号橋	1地区 1011号線	1972	2.74	3	R C 橋	主水新田字真蓋沼	2021	Ⅱ		●						
151	BR0-122076-00151	南花島 1 号橋	5地区 513号線	1982	2.7	5.5	R C 橋	南花島字一丁目	2022	Ⅱ			●					
152	BR0-122076-00152	新松戸 2 号橋	1地区 479号線	1982	2.59	5	R C 橋	大谷口字鎌ノ下	2021	Ⅱ		●						
153	BR0-122076-00153	栄町 2 号橋	6地区 116号線	1988	2.48	10.1	R C 橋	栄町字西四丁目	2020	Ⅱ		●						
154	BR0-122076-00154	東堰 4 号橋	主要幹線2級市道55号線	1982	2.45	12	R C 橋	栄町字三丁目	2020	Ⅱ		●						
155	BR0-122076-00155	平賀川 1 号橋	2地区 39号線	1982	2.41	6.65	R C 橋	久保平賀字下宿	2021	Ⅱ		●						
156	BR0-122076-00156	主水新田 4 号橋	1地区 923号線	1972	2.4	3.69	R C 橋	主水新田字太田	2021	Ⅱ		●						
157	BR0-122076-00157	大金平 2 号橋	1地区 228号線	1982	2.39	6	P C 橋	大金平三丁目	2021	Ⅱ		●						
158	BR0-122076-00158	大金平 1 号橋	1地区 227号線	1982	2.35	5.7	P C 橋	大金平字三丁目	2021	Ⅱ		●						
159	BR0-122076-00159	大金平 3 号橋	1地区 242号線	1982	2.32	6	P C 橋	大金平字三丁目	2021	Ⅱ		●						
160	BR0-122076-00160	新松戸南 2 号橋	主要幹線2級市道98号線	1988	2.3	10.92	R C 橋	新松戸南三丁目	2020	Ⅱ		●						
161	BR0-122076-00161	長津川 3 号橋	5地区 236号線	1982	2.3	6.88	P C 橋	新作字二階	2022	Ⅱ			●					
162	BR0-122076-00162	長津川 1 号橋	5地区 238号線	1982	2.25	10.43	P C 橋	新作字二階	2022	Ⅱ		●						
163	BR0-122076-00163	新松戸 1 号橋	1地区 260号線	1982	2.17	4.13	P C 橋	新松戸一丁目	2021	Ⅱ		●						
164	BR0-122076-00164	南花島 6 号橋	6地区 185号線	1982	2.12	7.25	P C 橋	南花島字向町	2020	Ⅱ		●						
165	BR0-122076-00165	長津川 2 号橋	5地区 239号線	1982	2.08	10.98	P C 橋	新作字二階	2021	Ⅱ		●						
166	BR0-122076-00166	河原塚 1 号橋	4地区 414号線	1988	2	9.63	P C 橋	日暮字山ノ下	2022	Ⅱ			●					
167	BR0-122076-00167	無名橋 1 0	5地区 150号線	1982	24.64	5.2	R C 橋	千駄郷字福荷	2022	Ⅱ			●					
168	BR0-122076-00168	第 1 雲園こ線道路橋	7地区 36号線	1977	20.9	6.42	R C 橋	河原塚字作畑	2020	Ⅱ		●		※		◎		
169	BR0-122076-00169	第 2 高塚こ線道路橋	4地区 526号線	1974	18.2	4.9	R C 橋	高塚新田字新堀込	2022	Ⅱ			◎	●				
170	BR0-122076-00170	第 1 高塚こ線道路橋	4地区 525号線	1974	18	4.95	R C 橋	紙敷字重兵衛山	2022	Ⅱ			●	○			※	
171	BR0-122076-00171	第 1 牧場こ線道路橋	7地区 381号線	1974	17.15	6.72	R C 橋	高塚新田字突棚	2022	Ⅱ				●				
173	BR0-122076-00173	代官大沼橋 (旧神明堰 7 号橋)	1地区 893号線	2001	4.95	4.8	R C 橋	主水新田字落沼	2021	Ⅱ		●						
174	BR0-122076-00174	神田川 1 号橋	6地区 448号線	1988	3.24	11.05	R C 橋	松戸字谷津	2022	Ⅱ		●						
175	BR0-122076-00175	神田川 3 号橋	6地区 421号線	1988	3.24	14.3	R C 橋	松戸字神田	2022	Ⅱ		●						
176	BR0-122076-00176	神田川 4 号橋	6地区 451号線	1988	3.24	7.96	R C 橋	松戸字神田	2022	Ⅱ		●						
177	BR0-122076-00177	神田川 6 号橋	6地区 455号線	1988	3.24	8.7	R C 橋	松戸字神田	2021	Ⅱ		●						
178	BR0-122076-00178	神田川 7 号橋	主要幹線1級市道31号線	1988	3.24	11.3	R C 橋	松戸字塚ノ越	2021	Ⅱ		●						
179	BR0-122076-00179	和名ヶ谷 2 号橋	主要幹線2級市道88号線	2001	2.7	12.86	R C 橋	和名ヶ谷字和田	2021	Ⅱ		●						
180	BR0-122076-00180	新松戸南 1 号橋	1地区 708号線	1988	2.3	10.27	R C 橋	馬橋字泥沼	2021	Ⅱ		●						
181	BR0-122076-00181	三ヶ月下こ線人道橋	1地区 513号線	1988	31.65	2.65	鋼溶接橋	二ツ木字押出	2020	Ⅱ		●						
182	BR0-122076-00182	学校裏こ線人道橋	6地区 415号線	1969	30.1	2.25	鋼溶接橋	松戸字塚ノ越	2021	Ⅱ		●						
186	BR0-122076-00186	常盤平こ線人道橋	4地区 6号線	1971	13.4	1.8	鋼溶接橋	常盤平一丁目	2022	Ⅱ		●	◎		◎			
188	BR0-122076-00188	平賀川 6 号橋	1地区 1056号線	1982	21	1.84～3.5	鋼溶接橋	東平賀	2021	Ⅱ		●						
190	BR0-122076-00190	無名橋 1 2	主要幹線1級市道27号線	1970	9.42	4.7	P C 橋	松戸	2022	Ⅱ			●					
36	BR0-122076-00036	仲道橋	1地区 869号線	1979	49.88	6.2	P C 橋	旭町字三丁目	2019	I		●						
44	BR0-122076-00044	摩通り橋	主要幹線2級市道7号線	1980	45.33	17	P C 橋	新松戸五丁目	2020	I		●						
45	BR0-122076-00045	御膳橋	1地区 3号線	1990	38.1	6.2	P C 橋	幸田字東前	2019	I		●						
46	BR0-122076-00046	大金平橋	1地区 228号線	1985	38.1	6.2	P C 橋	大金平字五丁目	2019	I		●						
47	BR0-122076-00047	幸田橋	1地区 54号線	1987	37.84	6.2	P C 橋	幸田字北耕地	2019	I		●						
49	BR0-122076-00049	平根橋	6地区 267号線	1979	29.65	4.8	鋼溶接橋	根本字家舗	2019	I		●						
50	BR0-122076-00050	舟附橋 (新坂川 1 1 号橋)	6地区 544号線	1983	21.7	12.7	P C 橋	新作字船付	2020	I		●						
53	BR0-122076-00053	柳原橋	8地区 297号線	1997	18.66	7.2	P C 橋	下矢切	2020	I		●						
54	BR0-122076-00054	一平橋	主要幹線1級市道29号線	2000	18	20.8	P C 橋	本町	2020	I		●						
56	BR0-122076-00056	三角橋	6地区 178号線	1983	17	7.2	P C 橋	栄町字一丁目	2020	I		●						
58	BR0-122076-00058	栄橋	主要幹線2級市道55号線	1985	16.7	9.2	P C 橋	古ヶ崎字四丁目	2020	I		●						
59	BR0-122076-00059	中乃橋	6地区 43号線	1984	16.6	9.2	P C 橋	栄町字二丁目	2020	I		●						
60	BR0-122076-00060	清川橋	6地区 52号線	1984	16.12	5.2	P C 橋	栄町字八丁目	2020	I		●						

凡例 ●：点検 ○：設計 ◎：修繕 □：架替
■：撤去 ☆：修繕中・協議済 ※：協議開始予定

No	国交省作業番号	橋梁名	路線名	架設年	橋長 (m)	全幅員 (m)	橋種	所在地	点検結果		対策の時期					対策内容	設計費用 (万円)	補修費用 (万円)
									年度	判定区分	2024年 R6	2025年 R7	2026年 R8年	2027年 R9年	2028年 R10			
201	BR0-122076-00201	仲田橋	1地区1057号線	2004	26	8.2	鋼溶接橋	東平賀	2021	I		●						
202	BR0-122076-00202	合川橋	主要幹線1級市道1号線	1970	25.15	12.9	鋼溶接橋	古ヶ先字下合川	2019	I	●							
203	BR0-122076-00203	葉ノ木橋	2地区15号線	1999	25	8.2	P C橋	幸田字東前	2021	I		●						
204	BR0-122076-00204	亀井下橋	6地区546号線	1988	22.5	10	鋼溶接橋	新作字亀井	2020	I		●						
205	BR0-122076-00205	本郷橋	主要幹線2級市道55号線	1997	22.1	13.3	P C橋	上本郷地先	2020	I	●							
206	BR0-122076-00206	水堀橋	8地区297号線	1996	21.96	7.2	P C橋	下矢切	2020	I		●						
207	BR0-122076-00207	花下橋	6地区32号線	1979	21.72	5.4	P C橋	上本郷字三斗峙	2020	I		●						
208	BR0-122076-00208	北松戸橋	6地区40号線	1992	21.7	9.2	P C橋	上本郷字花下	2020	I		●						
209	BR0-122076-00209	花蔦橋	6地区533号線	1983	21.66	7.2	P C橋	南花島字向町	2020	I		●						
210	BR0-122076-00210	黎明橋	主要幹線1級市道23号線	1984	21.55	16.8	P C橋	和名ヶ谷字関場	2020	I		●						
211	BR0-122076-00211	登校橋	6地区262号線	1994	21.4	7.5	P C橋	根本字大道下	2021	I		●						
212	BR0-122076-00212	赤込橋	6地区399号線	1958	20.4	6	鋼溶接橋	松戸字納屋川岸	2020	I	●							
213	BR0-122076-00213	新幸谷橋	1地区514号線	1999	20.3	13.8	P C橋	新松戸二丁目	2022	I		●						
214	BR0-122076-00214	堂の口橋	6地区398号線	1961	20.02	4.7	P C橋	本町	2020	I	●							
215	BR0-122076-00215	松ノ木橋	主要幹線2級市道64号線	1982	19.45	12.76	鋼溶接橋	根本	2020	I	●							
216	BR0-122076-00216	六間川3号橋	6地区136号線	1975	19.08	3.8	鋼溶接橋	古ヶ崎字庚塚	2020	I	●							
217	BR0-122076-00217	桜橋	主要幹線2級市道39号線	1987	18.65	13.8	P C橋	常盤平陣屋前	2022	I		●						
218	BR0-122076-00218	大谷口新橋	1地区480号線	1985	18.4	9.8	P C橋	大谷口字鎌ノ下	2021	I		●						
219	BR0-122076-00219	新松戸駅前大橋	主要幹線2級市道7号線	1975	18.35	30.5	P C橋	新松戸一丁目	2020	I		●						
220	BR0-122076-00220	水神橋	6地区324号線	1962	18	6	P C橋	古ヶ崎字水神前	2020	I	●							
221	BR0-122076-00221	水堀橋	6地区324号線	1963	17.55	4.6	P C橋	根本	2020	I	●							
222	BR0-122076-00222	拾六町橋	主要幹線2級市道61号線	1985	17.34	9.2	P C橋	古ヶ崎字三丁目	2020	I		●						
223	BR0-122076-00223	竹乃橋	6地区45号線	1988	16.71	9.2	P C橋	栄町字四丁目	2022	I				●				
224	BR0-122076-00224	新坂川7号橋	主要幹線1級市道2号線	1986	16.6	8.95	P C橋	西馬橋幸町	2020	I	●							
225	BR0-122076-00225	稲荷橋	主要幹線2級市道56号線	1982	16.3	9.2	P C橋	栄町字五丁目	2021	I		●						
226	BR0-122076-00226	上通橋	6地区51号線	1985	16.1	9.2	P C橋	栄町字八丁目	2020	I		●						
227	BR0-122076-00227	下通橋	6地区48号線	1984	16.1	5.2	P C橋	栄町字五丁目	2020	I	●							
228	BR0-122076-00228	鎌田橋	8地区281号線	1971	16.06	3.6	鋼溶接橋	上矢切字菰田	2019	I	●							
229	BR0-122076-00229	坂川橋	主要幹線2級市道3号線	1983	15.82	7.2	P C橋	旭町字三丁目	2022	I				●				
230	BR0-122076-00230	馬橋旭大橋	主要幹線2級市道2号線	1985	15.7	12.8	P C橋	旭町字三丁目	2022	I		●						
231	BR0-122076-00231	曾根橋	6地区79号線	1984	15.63	9.2	P C橋	古ヶ崎字四丁目	2021	I		●						
232	BR0-122076-00232	押出橋（新坂川3号橋）	1地区560号線	1982	15.24	6.2	P C橋	新松戸二丁目	2021	I				●				
233	BR0-122076-00233	伝兵衛橋	主要幹線2級市道56号線	1985	15.2	7	P C橋	栄町字西二丁目	2022	I				●				
234	BR0-122076-00234	中乃橋	6地区497号線	1961	15.1	3.6	鋼溶接橋	小山字屋敷添	2019	I	●							
235	BR0-122076-00235	夢路橋	7地区686号線	1988	7.44	7.2	P C橋	紙敷	2022	I				●				
236	BR0-122076-00236	紙敷橋	7地区267号線	1988	7.44	9.2	P C橋	紙敷	2021	I		●						
237	BR0-122076-00237	陣屋口橋	主要幹線1級市道27号線	1971	14.34	11.83	鋼溶接橋	松戸字宮田	2019	I	●							
238	BR0-122076-00238	町田橋	1地区561号線	1996	14	6.4	鋼溶接橋	新松戸二丁目	2020	I	●							
239	BR0-122076-00239	新坂川5号橋	1地区609号線	1996	14	6.4	鋼溶接橋	馬橋字中道南割	2021	I				●				
240	BR0-122076-00240	夷やか橋	7地区66号線	1988	13.5	5.5	R C橋	日暮字前	2022	I		●						
241	BR0-122076-00241	高暮橋	7地区83号線	1985	13.2	7.2	P C橋	日暮字宮ノ下	2022	I		●						
242	BR0-122076-00242	二幸橋	1地区561号線	1978	13.08	6.6	P C橋	新松戸二丁目	2022	I		●						
243	BR0-122076-00243	第2幸谷こ線道路橋	1地区454号線	1972	12.36	4.45	P C橋	幸谷字観音下	2022	I				●				
244	BR0-122076-00244	第3幸谷こ線道路橋	1地区453号線	1972	11.35	6.5	P C橋	幸谷字観音下	2022	I				●				
245	BR0-122076-00245	懐い橋	7地区25号線	1988	11	6.2	R C橋	日暮字前	2022	I		●						
246	BR0-122076-00246	国分川2号橋	7地区349号線	2014	10.08	5.02	P C橋	秋山字北	2022	I		●						
247	BR0-122076-00247	国分川3号橋	7地区346号線	2012	9.6	5.07	P C橋	秋山字北	2022	I		●						
248	BR0-122076-00248	剣橋	7地区139号線	1982	9.52	7.2	P C橋	和名ヶ谷字関場	2022	I		●						
249	BR0-122076-00249	三養橋	6地区148号線	2018	13.3	8.5	S R C橋	古ヶ崎字三枚田	2019	I	●							
250	BR0-122076-00250	三枚橋	6地区142号線	1964	8.58	3.84	P C橋	古ヶ崎字一丁目	2020	I		●						
251	BR0-122076-00251	首色橋	7地区263号線	1987	8.1	7.4	R C橋	紙敷字初崎	2022	I				●				
252	BR0-122076-00252	日暮2号橋	7地区23号線	1988	8	6.65	R C橋	日暮字はぬき沼	2022	I		●						
253	BR0-122076-00253	向野橋	6地区138号線	1992	7.82	4.2	P C橋	古ヶ崎字甚兵卫沼	2022	I		●						
254	BR0-122076-00254	春木橋	7地区24号線	1987	7.3	8.17	R C橋	日暮字前	2022	I		●						
255	BR0-122076-00255	神明堀3号橋	1地区899号線	1988	6.55	7	R C橋	七右衛門新田字中耕地	2022	I		●						
256	BR0-122076-00256	長津川1号橋	1地区608号線	1988	6.35	7.28	P C橋	中根字長津	2022	I		●						
257	BR0-122076-00257	日暮3号橋	7地区22号線	1988	5.52	6.13	R C橋	日暮字はぬき前	2022	I		●						
258	BR0-122076-00258	河原塚3号橋	4地区405号線	1988	5.4	5.5	P C橋	日暮字山ノ下	2021	I		●						
259	BR0-122076-00259	前田川6号橋	1地区601号線	1982	5.31	5	P C橋	馬橋字前田	2022	I		●						
260	BR0-122076-00260	和名ヶ谷1号橋	7地区324号線	2001	4.51	6.29	R C橋	和名ヶ谷字宮之下	2021	I		●						
261	BR0-122076-00261	河原塚4号橋	4地区404号線	1988	4.8	7.02	P C橋	日暮字山ノ下	2022	I		●						
262	BR0-122076-00262	旭町2号橋	1地区865号線	1982	4.53	4.28	R C橋	旭町字二丁目	2022	I		●						
263	BR0-122076-00263	無名橋2	5地区647号線	1982	4.5	6.9	R C橋	八ヶ崎六丁目	2022	I		●						
264	BR0-122076-00264	中堀8号橋	6地区45号線	2011	4.3	7.58	P C橋	栄町字三丁目	2021	I		●						
265	BR0-122076-00265	栄町5号橋	6地区113号線	1982	4.2	6.55	R C橋	栄										

凡例 ●：点検 ○：設計 ◎：修繕 □：架替
■：撤去 ☆：修繕中・協議済 ※：協議開始予定

No	国交省作業番号	橋梁名	路線名	架設年	橋長 (m)	全幅員 (m)	橋種	所在地	点検結果		対策の時期					対策内容	設計費用 (万円)	補修費用 (万円)
									年度	判定区分	2024年 R6	2025年 R7	2026年 R8年	2027年 R9年	2028年 R10			
301	BR0-122076-00301	東堀 1 号橋	主要幹線2級市道56号線	1982	2.47	12.5	R C 橋	栄町字六丁目	2021	I			●					
302	BR0-122076-00302	栄町 1 号橋	6地区123号線	1988	2.38	6	R C 橋	栄町字西五丁目	2022	I			●					
303	BR0-122076-00303	無名橋 4	主要幹線1級市道1号線	1988	2.3	17	R C 橋	馬橋字中道北割	2021	I			●					
304	BR0-122076-00304	無名橋 5	1地区733号線	1988	2.3	10.4	R C 橋	馬橋字中道北割	2021	I			●					
305	BR0-122076-00305	旭町 1 8 号橋	1地区873号線	1982	2.23	4.64	P C 橋	旭町字三丁目	2022	I			●					
306	BR0-122076-00306	長津川 4 号橋	5地区231号線	1982	2.2	4.35	R C 橋	中和倉字後谷津	2022	I			●					
307	BR0-122076-00307	去ヶ崎北幹線 1 号橋	6地区90号線	1988	2.1	7.05	R C 橋	栄町字西一丁目	2021	I			●					
308	BR0-122076-00308	第 1 団地こ線道路橋	7地区58号線	1977	19.7	3.4	R C 橋	河原塚字中割	2020	I		●						
309	BR0-122076-00309	第 3 ハヶ崎こ線道路橋	主要幹線2級市道43号線	1974	19.22	12.5	R C 橋	ハヶ崎字水砂	2022	I			●					
310	BR0-122076-00310	旭町 1 4 号橋	主要幹線2級市道2号線	1982	4.53	14.1	R C 橋	旭町字一丁目	2021	I			●					
311	BR0-122076-00311	旭町 9 号橋	主要幹線2級市道2号線	1982	4.5	12.57	R C 橋	旭町字一丁目	2021	I			●					
312	BR0-122076-00312	旭町 2 3 号橋	主要幹線2級市道2号線	1982	3.4	12.05	R C 橋	旭町字一丁目	2021	I			●					
313	BR0-122076-00313	神田川 2 号橋	6地区450号線	1988	3.24	10.7	R C 橋	松戸字谷津	2022	I			●					
314	BR0-122076-00314	神田川 5 号橋	6地区453号線	1988	3.24	8.62	R C 橋	松戸字神田	2021	I			●					
315	BR0-122076-00315	紙敷川 3 号橋	4地区502号線	1988	3.22	9.6	R C 橋	紙敷字向	2022	I			●					
316	BR0-122076-00316	千駄堀 1 号橋	5地区341号線	1988	2.8	6.54	R C 橋	千駄堀字寒風	2022	I			●					
317	BR0-122076-00317	坂川歩道橋	1地区930号線	1984	45.42	2.8	鋼溶接橋	横須賀字道脇北通	2022	I			●					
318	BR0-122076-00318	平根歩道橋	6地区267号線	1980	30.6	2.09	鋼溶接橋	根本字家餅	2022	I			●					
319	BR0-122076-00319	一本橋	6地区264号線	1975	22.6	1.9	鋼溶接橋	根本字大通下	2019	I	●							
320	BR0-122076-00320	競輪場前歩道橋	6地区32号線	1974	22.35	3.4	鋼溶接橋	上本郷字三斗峙	2022	I			●					
321	BR0-122076-00321	さかね橋	6地区265号線	1974	21.72	3.4	鋼溶接橋	根本字大通下	2019	I	●							
322	BR0-122076-00322	橋六間橋	1地区888号線	1976	16.22	1.9	鋼溶接橋	旭町字一丁目	2019	I	●							
323	BR0-122076-00323	新坂川 1 号橋	1地区221号線	1982	15.5	2.8	鋼溶接橋	横須賀字道脇北通	2021	I			●					
324	BR0-122076-00324	長津道橋	主要幹線2級市道57号線	1981	15.31	3.4	鋼溶接橋	栄町字八丁目	2022	I			●					
325	BR0-122076-00325	水琴橋	1地区502号線	1988	14.7	3.4	鋼溶接橋	新松戸一丁目	2022	I			●					
326	BR0-122076-00326	鈴喜橋	6地区506号線	1968	14	3.1	鋼溶接橋	小山字横枕	2021	I		●						
327	BR0-122076-00327	無名橋 7	主要幹線2級市道2号線	1988	4.1	2	鋼溶接橋	西馬橋五丁目	2021	I			●					
328	BR0-122076-00328	無名橋 8	主要幹線2級市道2号線	1988	4.1	2	鋼溶接橋	西馬橋五丁目	2021	I			●					
329	BR0-122076-00329	無名橋 9	2地区2号線	1988	2	3	P C 橋	根木内	2021	I			●					
330	BR0-122076-00330	馬橋西ノ橋	1地区1090号線	2011	15.5	11	鋼溶接橋	馬橋	2022	I		●						
331	BR0-122076-00331	無名橋 1 1	主要幹線1級市道27号線	1970	9.42	4.7	P C 橋	松戸	2022	I			●					

改訂履歴

平成25年(2013年)9月	初版
平成31年(2019年)3月	第2版
令和 4年(2022年)3月	第2版追加改訂
令和 6年(2024年)3月	第3版